

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	保健施設管理事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	保健福祉部	課等名	保健課		包含する細々目	1	4	1	1	12	1	9,253
政策	3健やかに安心して暮らせるまちづくり											
施策	31 心と体の健康づくり											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議								
		事業期間	年度～	年度	関連計画 条例等							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	上郷保健センター、飯田市保健センター、鼎保健センター、上村保健センター 飯田市健康増進施設(施設管理のみ) 千代診療所(施設管理のみ) 保健師の質の向上	保健施設として管理する施設数	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	6	
			6	6			
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
			対象の利用者数	18目標	40000	最終目標	
	適切に管理される 高い専門性を身につける	対象の利用者数	18実績	未調査	19目標		↑
23目標				23実績		最終目標達成年度	
専門性を高める研修会等延べ回数(回)			18目標	7	最終目標		
18実績			10	19目標	10	↑	
		23目標	10	23実績		最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	<ul style="list-style-type: none"> 保健センター3箇所の維持管理 保健師などの研修会への参加 千代診療所の施設管理 飯田市健康増進施設の指定管理継続 	保健師、栄養士、歯科衛生士など、専門性を高める研修会への参加 延べ10回 ・保健センター維持充実のための臨時職員の雇用2名 ・施設管理(エレベーター保守毎月)、消防設備点検1/年、燃料費、光熱水費、修繕料、保険料	維持管理された施設数 年間利用者数 専門性を高める研修会への参加	6 119,78 1 10
		保健師、栄養士、歯科衛生士など、専門性を高める研修会への参加 ・保健センター維持充実のための臨時職員の雇用2名 ・施設管理(エレベーター保守毎月)、消防設備点検1/年、燃料費、光熱水費、修繕料、保険料 指定管理の継続 委託による運営の継続	維持管理された施設数 年間利用者数 専門性を高める研修会への参加	6 130,00 0 10以上

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	84	84
一般財源	7,596	9,169	
事業費計(A)	7,680	9,253	
人件費	正規職員所要時間	18年度	19年度
	臨時職員等所要時間	220	220
	人件費計(B)	237	237
	トータルコストA+B	7,917	9,490

特定財源内訳や補足事項
 ・飯田市健康増進施設「ほっ湯アップル」源泉地代(立替分)84千円

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	心身ともに健康を保つための場の提供 当該施設での健診事業により心と体の健康づくりに寄与できる。		現状値		19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
	制度改正がめまぐるしく行われるため、専門的知識を含めて研修が必要になってきている。	研修会で得たものを保健事業に生かす。

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていきますか？	(評価) 結びつく (その理由) 保健施設の管理を中心とした事業をすることにより、保健医療施設を必要に応じて市民の皆さまに利用頂けるようにすることで、健康の増進(心と体)の健康づくりに寄与する施設となる。また、保健指導する側の資質の向上のための研修により、最新の情報を市民に発信ができる。	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がない (その理由) 施設維持管理を主としている。
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由) 施設管理の要素が高い事業である。保健師などの資質向上・専門性の習得のための研修である。		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由) 健診会場の減により、市民にとって保健センターの持つ役割のための使用ができなくなる。地域性があり、廃止の場合地域医療の衰退につながる。
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由) 施設を管理維持する事業であるため、また、職員の資質向上・専門性の習得のための研修		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由) 各保健センターの維持は指定管理受任者が管理運営していますが、市の健康増進施設として位置づけられており、市民の健康増進に繋がっています。大きな増改築は市が対応し、維持管理にかかる修繕・改修については指定管理受任者が行っている。		効率性 評価	成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由) 受益者は市民

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 実施年度 <input type="text"/> 具体化	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	